

PDCAチェックシート

実施年度	令和元年度		
事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	担当課名	子育て支援課
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
<p>■目的</p> <p>子育ての「援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」の連絡・調整を行うことで、地域における子育てに関する相互援助活動を推進するとともに、子育ての多様なニーズへの対応を図る。</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】</p> <p>○まかせて会員数の増加率 10%以上</p> <p>【達成値(R1実績値)】</p> <p>○まかせて会員数の増加率 14.8% (R1 62人、H30 54人、H29 50人、H28 45人、H27 35人) ※どっちも会員含む</p> <p>・おねがい会員 103人 ・まかせて会員 58人 ・どっちも会員 4人 (計 165人)</p>	<p>■具体的取組</p> <p>○市社会福祉協議会に委託して、事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相互援助活動の調整 会員の確保、養成、質の向上 周知PR活動 など <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>○委託料 3,950千円</p> <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>○活動回数 446回 (H30 555回、H29 677回、H28 563回、H27 248回)</p> <p>○主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所・こども園・幼稚園・小学校の帰宅後の預かり 31回 放課後児童クラブの迎え 54回 子どもの習い事等の場合の援助 320回 <p>○会員増につながった取組</p> <ul style="list-style-type: none"> まかせて会員養成講座 2回 受講者数 22人(うち新規 11人) 受講時間(26時間+保育実習)×2回 会員交流会 1回 スキルアップ研修会 2回 <p>○周知PRの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 市広報、ファミサポ通信、チラシ配布、イベント参加、乳幼児健診、民生児童委員連絡協議会での周知など 	<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業を利用するには、事前に「おねがい会員」に登録し、利用目的のあう「まかせて会員」とのマッチングが必要である。</p> <p>アドバイザーが両者の間に入り、マッチング業務を行っているが、「まかせて会員」の確保が十分でない利用者のニーズに上手く対応できない。</p> <p>「まかせて会員」としては子育て等の経験豊富な中高年が重要であるが、中高年の会員にとっても地域との絆や生きがいに繋がる活動であることから、本事業の周知や会員募集を積極的に行い、「まかせて会員」の増加を図り、ファミリー・サポート・センターの事業を充実させていきたい。</p> <p>令和元年度は前年度に引き続き2回のまかせて会員養成講座を実施した。受講者数は22名であり、前年度の26名より減少したが、講座受講後のまかせて会員登録者数(どっちも会員を含む)は9名であり、前年度の4名を大きく上回ったことから、目標値を達成することができた。</p> <p>講座については、調理や絵本の読み聞かせなどの楽しい実習や、子どもの心理など子どもと関わるうえで重要となる分野の専門の先生による講義、保育実習等を組み合わせ、効果的に実施することができた。</p>	<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>活動内容としては、送迎が多く、利用者の大半を占めている。</p> <p>マッチング時には利用者のニーズを聞き、支援が途切れないよう、場合によっては複数人で対応するなどサービスの提供に努めているが、より多くのニーズに対応するには、「まかせて会員」を増やすことが必要である。</p> <p>今後も事業の定着に向けて、周知PRを図るとともに、多くの方が参加出来るよう、講座の日程、受講時間を調整するなど、引き続き「まかせて会員」の確保・養成及び質の向上に努める。</p>

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。